

第6回 国際OPIシンポジウム 開催案内

The 6th International Symposium on Oral Proficiency Interview

キリル・ラデフ氏追悼記念 In Memory of Dr. Kiril Radev

日程: 2007年8月18日(土)~19日(日)

会場: 大学コンソーシアム京都 (<http://www.consortium.or.jp/>)

テーマ: プロフィシエンシーと第2言語教育

「プロフィシエンシー」とは、第2言語つまり外国語の「習熟度」、あるいは、「実力」を意味すると言われますが、第2言語を取り巻く「文化」を「理解」し、また、「実践」する能力のことなど考えると、ことばが「できる」とは何なのか、簡単には答えられません。そのような背景のもと、古くて新しい国際都市京都における今回の国際シンポジウムでは、基調講演に鳥飼玖美子先生をお迎えし、言語運用力とコミュニケーションとの関係について、まず、お考えを聞き、その後のパネルディスカッションで、様々な角度からの議論を行います。また、2日目には午前中、日本語と英語の OPI 紹介講座を平行させ、午後には、研究発表、ポスターセッションと盛り沢山の企画となりました。皆様のご参加と活発な議論により、この興味深い問いに少しでも納得の行く答えが得られるよう期待しています。

主催: 関西 OPI 研究会 協力: 日本語 OPI 研究会、九州 OPI 研究会、韓国 OPI 研究会、欧州 OPI 研究会
後援: 日本語教育学会、京都外国語大学、(株)アルク、American Council on the Teaching of Foreign Languages (ACTFL)

参加費(予稿集代を含む): ※前回のお知らせから変更がありますのでご注意ください。

事前申し込み: 各 OPI 研究会会員 3000 円 / 一般 (非会員) 5000 円 / 学生 3000 円 (7月31日まで)
銀行振り込み(お一人ずつ、参加者ご本人の名前でお振込みください。)

当日申し込み: 1日につき 一般 3000 円 / 学生 2000 円

懇親会費: 一般 7000 円 / 学生 5000 円

プログラム 第1日目 8月18日(土) 「徹底的パネル討論会」 総合司会: 由井紀久子(京都外国語大学)

9:30~10:00 開会式 & 挨拶

10:00~11:30 基調講演:

鳥飼玖美子 (立教大学)「第二言語で話すということ: 言語運用力とコミュニケーション」

13:00~15:00 パネルディスカッション I: 第2言語教育におけるプロフィシエンシー

鎌田修(南山大学)「ACTFL-OPI におけるプロフィシエンシー」

根岸雅史(東京外国語大学)「英語教育におけるプロフィシエンシー」

エレン・ナカミズ(京都外国語大学)「ブラジルポルトガル語と会話能力測定」

山田ボヒネック頼子(ベルリン自由大学)「CEFR(欧州言語共通枠組み)に見るプロフィシエンシー」

司会: 迫田久美子(広島大学)

15:30~17:30 パネルディスカッション II: 日本語教育におけるプロフィシエンシー

川上郁雄(早稲田大学)「“移動する子どもたち”と JSL バンドスケール」

金田泰明(国際交流基金)「日本語能力試験とプロフィシエンシー」

北条尚子(JETRO)「JETRO ビジネス日本語能力テストとプロフィシエンシー」

山内博之(実践女子大学)「ACTFL-OPI の弱点・問題点」

司会: 嶋田和子(イーストウエスト日本語学校)

18:30~ 懇親会 (舞妓さんと握手できる懇親会! ? ぜひご参加ください)

プログラム 第2日目 8月19日(日) 「OPI Familiarizationと研究発表」

9:00～11:30 第1会場 ACTFL-OPI Familiarization (OPI 紹介講座) *

日本語: 牧野成一 (Princeton University) / 英語: Tony Demko (ACTFL)

第4会場 ACTFL-OPI テスター Refresher Workshop **

渡辺素和子 (Portland State University)

* OPI 初体験の方はこの ACTFL-OPI Familiarization にご参加ください。

** OPI のテスターおよびワークショップ受講経験者が対象です。参加者には「更新」手続きの一環として参加証が発行されます。

13:00～15:50 研究発表(口頭発表、ポスター発表) / 英語 ACTFL-OPI デモンストレーション

	第1会場 口頭発表	第2会場 口頭発表	第3会場 口頭発表	第4会場 英語 ACTFL-OPI デモンストレーション	第5会場 ポスター発表
13:00 ～ 13:30	宇佐美まゆみ(招聘発表) 『伝達委との達成度』『歩ラ イトネスの適切性』『言語行 動の洗練度』から捉えるプ ロフィエンシー	櫻井直子 「CEFR、ACTFL-OPI のレ ベル記述に基づく口頭試験 評価基準、及び、初級日本 語口頭試験問題と評価表」	堀井恵子 「留学生の就職支援のため のビジネス日本語教育に求 められるものは何か」	13:00～14:15 英語 ACTFL-OPI デモンストレーション	13:00～15:00
13:30 ～ 14:00	桜井恵子・斉藤麻子 「韓国における外国語口頭 能力評価」	遠藤藍子 「人材育成」の視点を導入し た口頭能力評価方式の効 果」	稲熊美保 「日本語口頭運用能力の向 上と授受表現の習得 －韓国人学習者の場合」	第1部	遠山 千佳 「談話における主題提示 表現の習得 －母語の主題・主語の 卓立性との関係から－」 城保江 「OPI スタイルビデオを 使った同時発話訓練 が、初級学習者のスピ ーチ能力に与える効果 について」
休憩					
14:10 ～ 14:40	駒井(木寅)裕子 「コロキアルロールプレイに 見られる終助詞の特徴 －超上級女性の会話を中 心に－」	長谷川哲子・堤良一 「アカデミックライティングに おける「分かりにくさ」の要 因は何か? ～意見文の分 析を通じた考察～」	石原千代枝 「助言に対する返答の仕方 に関する一考察」	休憩	
14:40 ～ 15:10	水本光美・福盛壽賀子・高 田恭子 「会話指導における女性文 末詞の扱い」	川崎直子・徐毓瑩・久我瞳 「接触場面研究の教材化－ 三ヶ国の学習者を対象にし た教材作成－」	萩原孝恵 「<雑談>という活動の型 で使用される接続詞－初対 面・友人・親しい友人の雑 談の比較から－」	14:30～15:45 英語 ACTFL-OPI デモンストレーション	
休憩					
15:20 ～ 15:50	李在鎬・佐野香織・秋澤委 太郎 「初級学習者の名詞使用と 文生成の問題」	福江友樹・平野琢也 「日本人英語学習者のスピ ーキング力測定及びスピー キング力向上のためのメ ソッド」	北川幸子 「タスク先行型ロールプレイ を用いた授業 －Independent Study Course での試み－」	第2部	

16:00～16:30 総括:

牧野成一 (Princeton University)

16:30～16:40 閉会式

事前参加申し込み締め切り: **2007年7月31日(必着)**

申し込み方法等は下記のHPに掲載しています。

日本語 OPI 研究会 <http://opi.jp/kyoto2007/>

★夏休み中の観光シーズンにつき宿泊などは早めの手配を各自お願いいたします

JTBがこのシンポジウムに合わせてお手ごろな宿泊・観光プランを作成してくださっています。ホームページにてご紹介しております。ご覧ください。

★Refresher Workshop について

- ・19 日午前のRefresher Workshop は、シンポジウム参加費用のみで参加できますが、OPI テスター資格保持者およびワークショップ受講経験者に限ります(要事前受付)。
- ・現在資格を持っているテスター、および2005年1月以降に資格を失効した方は、受講によりBトラックでの更新が可能になります。
- ・(今回のみの特例!) 2005年1月以前に資格を失効しているがOPI 研究会に所属し例会に積極的に参加している方は、今回のこのRefresherWorkshop 参加でBトラックでのテスター資格更新が可能になります。詳細はホームページにて。